

平成11年8月13日
原子力安全対策課
(11-80)
<11時資料配布>

大飯発電所4号機の第5回定期検査開始について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所4号機（加圧水型軽水炉；定格出力118.0万kW）は、8月16日から約2カ月の予定で第5回定期検査を実施する。

定期検査を実施する主な設備は次のとおりである。

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電装置
- (9) 蒸気タービンおよび蒸気タービン付属設備

1. 主要工事等

(1) 1次冷却材ポンプ供用期間中検査 (図－1 参照)

1次冷却材ポンプの供用期間中検査として、4台あるポンプのうち、Bポンプについて、主フランジボルト、締め付け部等耐圧部の健全性を確認するとともに、分解検査としてインペラ等の内部部品について点検する。

(2) 原子炉格納容器供用期間中検査

原子炉格納容器（プレストレストコンクリート製格納容器：PCCV）の供用期間中検査として、縦方向緊張ケーブル4本および円周方向緊張ケーブル5本について引張り力を測定し、適切な緊張力であることを確認する。

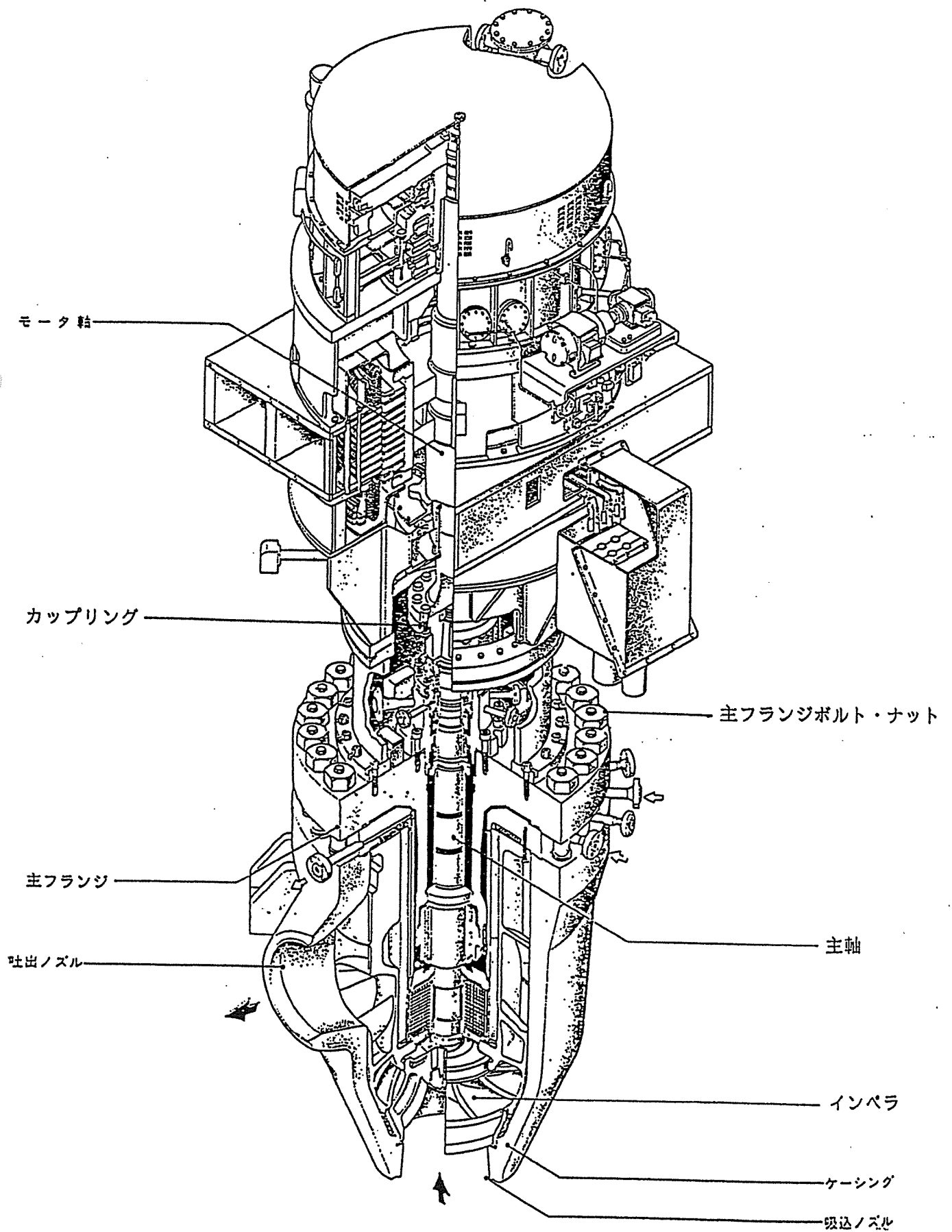
2. 燃料取替計画

燃料集合体全数193体のうち、77体（うち76体は新燃料集合体で新燃料は全て高燃焼度燃料）を取り替える予定である。

3. 運転再開予定

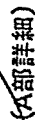
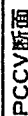
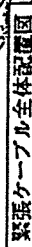
原子炉起動・臨界	:	平成11年9月中旬
発電再開（調整運転開始）	:	平成11年9月下旬
定期検査終了（営業運転再開）	:	平成11年10月中旬

図 - 1 1 次冷却材ポンプ構造図





縦方向緊張ケーブル



PCCV構造の概念

プレストレストコンクリート製格納容器の構造健全性が持続していることを検証するため、縦方向緊張ケーブル4本および円周方向緊張ケーブル5本について引張り力を測定し、設計で要求されている以上の緊張力であることを確認する検査。

「設計で要求されている緊張力」

縦方向緊張ケーブル：577トン以上
円周方向緊張ケーブル：547トン以上

大飯発電所4号機の第5回定期検査に関する補足説明資料

- ・発電停止（定期検査開始）、原子炉停止の予定時刻

発電停止 : 8月16日23時頃

原子炉停止 : 17日0時頃